

●外科（2024年度）

1. 人員体制

外科常勤医は22名（スタッフ13名、専攻医9名）、非常勤医1名である。甲状腺外科は、日本医科大学より杉谷巖教授を非常勤医として招聘している。

2. 診療

2024年の手術件数は1,846件（中央手術室集計）で、昨年度と比較しやや増加している。

2023年12月に2台目のロボットが導入され、消化器領域でロボット手術件数が増加し、低侵襲手術による機能温存とともに、早期退院を実現させている。

3. チーム医療

理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師など多職種によるチーム医療によって、術後合併症の低減と在院日数の短縮が図られている。

4. 地域連携

ソーシャルワーカーを中心に診療支援室や連携室の積極的な活動と、地域の医療施設・福祉施設のご協力とご理解により、紹介・逆紹介の件数が増加している。

I：外科手術件数（2024.1月－2024.12月）

	2024 年（内視鏡手術）	2023 年（内視鏡手術）
合計	1,846 件	1,739 件
頸部	28	32
肺	154 (72)	162 (87)
縦隔	4	4
乳房	184	148
血管	116	87
消化器	1,002 (590 ロボット 171)	1,074 (487 ロボット 131)
食道	6	9 (0)
胃	109 (65 ロボット 46)	103 (46 ロボット 33)
十二指腸	8 (0)	7 (0)
小腸	64 (3)	76 (7)
虫垂	118 (91)	126 (52)
結腸	202 (92 ロボット 44)	217 (78, ロボット 5)
直腸	104 (91 ロボット 60)	93 (58 ロボット 23)
肛門	34	38
腸閉塞	39	65
肝	44 (20 ロボット 14)	45 (18 ロボット 4)
胆道	239 (219)	252 (212)
膵	32 (8 ロボット 7)	41 (15 ロボット 7)
脾	1 (1)	2 (1)
ヘルニア	241	278
外傷	9	14
再手術	38	13
その他	132	71

Ⅱ：予定手術における術後合併症

1) 消化器

食道 C-D 分類：Ⅲ a:0、Ⅲ b:0、Ⅳ a,Ⅳ b:0、Ⅴ :1 例
胃 C-D 分類：Ⅲ a:0、Ⅲ b:4、Ⅳ a,Ⅳ b:0、Ⅴ :1 例
結腸 C-D 分類：Ⅲ a:0、Ⅲ b:3 例、Ⅳ a0,Ⅳ b,Ⅴ :0
直腸 C-D 分類：Ⅲ a:0、Ⅲ b:3 例、Ⅳ a,Ⅳ b,Ⅴ :0
肝 C-D 分類：Ⅲ a:1 例、Ⅲ b,Ⅳ a,Ⅳ b,Ⅴ :0
胆道 C-D 分類：Ⅲ a:11 例、Ⅲ b,Ⅳ a,Ⅳ b,Ⅴ :0
膵 C-D 分類：Ⅲ a:8 例、Ⅲ b:1 例、Ⅳ a,Ⅳ b0、Ⅴ :1 例

・消化器外科全体

手術関連死 3 (0.3%)

術死 1

在院死 2

2) 呼吸器

C-D 分類：Ⅲ a:7 例、Ⅲ b:3 例、Ⅳ a,Ⅳ b,Ⅴ :0

3) 乳腺

C-D 分類Ⅲ a:1 例、Ⅲ b:1 例、Ⅳ a,Ⅳ b,Ⅴ :0

4) 血管

C-D 分類：Ⅲ a:0、Ⅲ b:1 例、Ⅳ a:2 例、Ⅳ b:1 例、Ⅴ :3 例

Ⅲ：外科全体（予定・緊急）における術死及び手術関連死総数

18 例 (1.0%)

術死 6 (予定 2、緊急 4) 例

在院死 12 (予定 5、緊急 7) 例